

健診ソフトの導入手順

まったく初めての場合の導入方法を説明します。

A: 「健診ソフト 2018」というフォルダを作って、次の6つのファイルを入れてください。

平成30年度のデータを処理します。

学校健診プログラム E2018

学校健診プログラム JS2018

データ抽出転送プログラム

成長曲線自動作成プログラム

組編成と生年月日入力表

健診データ入力表

B: 「組編成と生年月日入力表」に入力

- 1) 「組編成と生年月日入力表」を選び、起動します。
- 2) 初画面の、「学校健診プログラムと同期する」ボタンをクリックします。

初画面 組編成と生年月日入力表 最終・同期年月日 2018/3/18

学校健診プログラムと同期する

起動時に、学校健診プログラムとの同期の確認があります。
各学年・組に、転入・転出・氏名変更などがなければ、同期の必要はありません。
はつきりしなければ、必ず「学校健診プログラムと同期する」ボタンをクリックして、この入力表を整えてください。

「学校健診プログラムと同期」とは、各学年ごとに、学籍番号順の氏名・性別の取込を行うことです。

	画面移動ボタン						処理説明
一 学年の生徒数設定	生徒数拡張		設定生徒数: 100				枠外参照
クラス(組)編成	組編成1	組編成2	組編成3	組編成4	組編成5	組編成6	枠外参照
生年月日の入力	小学1年 中学1年	小学2年 中学2年	小学3年 中学3年	小学4年 高校1年 高専1年	小学5年 高校2年 高専2年	小学6年 高校3年 高専3年	枠外参照

注) ボタン色は、緑・赤・オレンジの3種類があります。
 緑は画面移動ボタン、赤は自動マクロ実行ボタン、オレンジ色はデータ転送ボタンです。
 赤・オレンジ色のボタンをクリックすると、確認画面が出ますので、変更しない場合は閉じて下さい。

- 3) 「学校健診プログラムと同期する」ボタンをクリック
ボタンをクリックすると、次のような画面が出ます。

同期の設定

組編成・生年月日入力表⇄健診プログラム・データ抽出転送プログラム

同期方法をチェックボタンで選択してください。

転送のための同期
(入力したデータを2つのプログラムに転送するためです。)

入力のための同期
(入力表を準備するためです。)

次へ 同期するプログラムの指定へ

閉じる 同期するプログラムの指定をせずに終了

健診ソフトの導入手順

すべてのプログラムはまだ未入力状態です。まったくの最初は、「同期方法をチェックボタンで選択してください」で、「転送のための同期」、「入力のための同期」、または「閉じる」、どれを選んでもよろしいです。少しでも入力をした場合は、「転送のための同期」を選びますので、これから始めるのがよいでしょう。

a. 「転送のための同期」は、入力したデータを2つのプログラムに転送するためです。

このファイル「組編成と生年月日入力表」に、新しく入力されたデータがある、状態です。

「次へ」ボタンをクリックして、入力されたデータの転送先の、ファイル「学校健診プログラム」を指定します。転送先の「学校健診プログラム」からのデータ取込はありません。

b. 入力のための同期は、入力表を準備するため、転送先のファイルと一致させます。

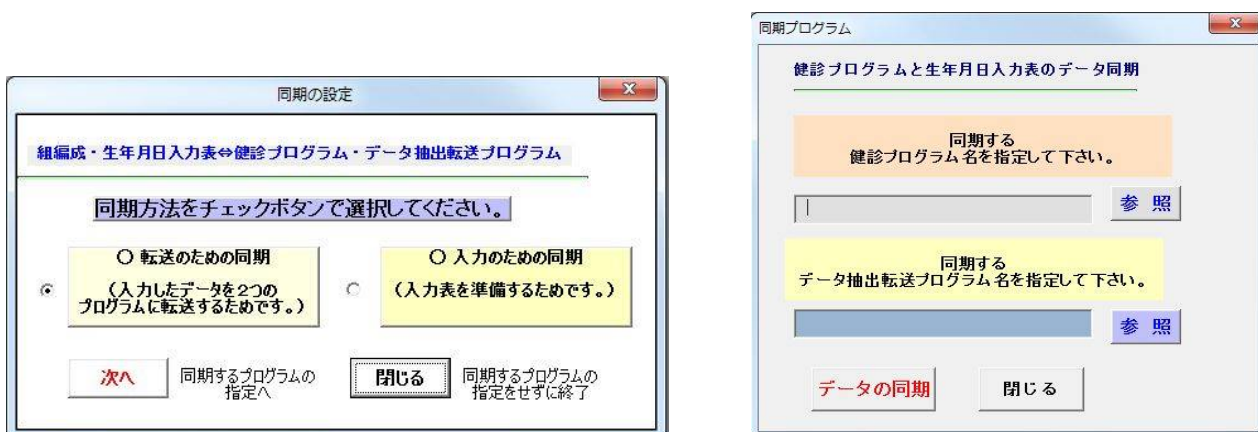
このファイル「組編成と生年月日入力表」に、「学校健診プログラム」からデータ取込が行われます。

「学校健診プログラム」が白紙の場合は、データなしが取込、すなわち、データがすべて消去されます。

また、「学校健診プログラム」側で変更したデータがあれば、すべて取込が行われ、内容を一致させます。

「前年度データ取込」や、「転入・転出・氏名変更」が行われた場合などです。

c. 一時的な入力や、複数人での入力の場合など、転送せず入力だけが目的の場合は、「閉じる」を選択して、初画面に戻ります。

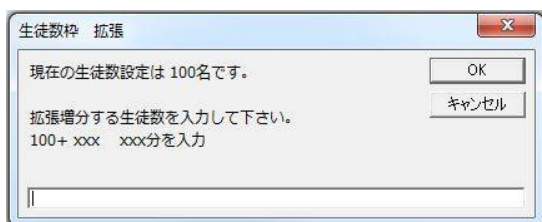


「同期プログラム」では、

「同期する健診プログラム名を指定して下さい」で、「学校健診プログラム E2018（または JS2018）」

「同期するデータ抽出転送プログラム名を指定して下さい」で、「データ抽出転送プログラム」を選び、「データの同期」ボタンをクリックします。

4) 初画面の「生徒数拡張」ボタンをクリックして、学年の生徒数を設定します。



5) 「組編成1」ボタンをクリックします。

健診ソフトの導入手順

使い方

- 1) 白枠のセルに、組・組内番号・氏名・ふりがな・性別(1・2)を入力します。
- 2) 「組番号順並べ替え」ボタンをクリックします。
(組内番号を入力しなくても、組を入れれば、組内番号は自動入力されます)
- 2) 「学籍簿作成」ボタンをクリックし、右の学籍簿を作成します。
(すでに学籍番号がある場合は、自動終了します)

初画面へ

学籍簿作成

学籍簿

学籍簿

学年	組	組内番号	氏名	ふりがな	性別 1・2	性別 男女
1	1	1	秋元 雅	あきもとみやび	2	女
2	1	2	石塚 伸江	いづつかのぶえ	2	女
3	1	3	岩崎 明日香	いわさきあすか	2	女

白枠のセルに、組・組内番号・氏名・ふりがな・性別（1・2）を入力します。

「組番号順並べ替え」ボタンをクリックします。

「学籍簿作成」ボタンをクリックし、右の学籍簿を作成します。

6) 「学年1 生年月日入力表へ」ボタンをクリックします。

生年月日を入力し、「修正・追加」ボタンをクリック、「生年月日データの転送」ボタンをクリックします。

7) 「組編成1」と同様に、「組編成2」から「組編成6」まで操作、入力します。

8) 「学年2 生年月日入力表へ」から「学年6 生年月日入力表へ」まで操作、入力します。

例) 「小学5年・高校2年・高専2年」ボタンをクリックすると、

使い方

- 1) この「生年月日入力表」が最新かどうか、初画面の「最終同期年月日」で確認します。はっきりしなければ、必ず「学校健診プログラムと同期」ボタンをクリックします。
- 2) 白枠の中に、修正も含めて、新しく再入力した生年月日を入力します。
- 3) 「修正・追加」ボタンをクリックします。
- 4) 「生年月日データの転送」ボタンをクリックして、生年月日データを転送します。転送後は、「学校健診プログラム」と「成長曲線自動作成プログラム」です。

初画面へ

生年月日データの転送

組編成5

修正・追加

検索・カーソル移動

学籍番号を入力してください

学籍番号

年	学籍番号	氏名	ふりがな	性別 1,2	性別 男女	生年月日	学籍番号	氏名	性別	生年(和暦)	月	日	生年(和暦)	月	日	生年月日
5	130001	青木 文吾	あきぶん	1	男	2006/9/5	130001	***	男	18	9	5				
5	130002	青木 克	あきまさ	1	男	2006/12/11	130002	***	男	18	12	11				
5	130003	飯島 孝彦	いまたか	1	男	2006/8/11	130003	***	男	18	8	11				

C: 「健診データ入力表」に入力

1) 「健診データ入力表」を選び、起動します。

2) 初画面の、「学校健診プログラムと同期する」ボタンをクリックします。

健診ソフトの導入手順

初画面 健診データ入力表 最終・同期年月日 2018/1/10

学校健診プログラムと同期する

起動時に、学校健診プログラムとの同期の確認があります。
各学年・組に、転入・転出・氏名変更などがなければ、同期の必要はありません。
はっきりしなければ、必ず「学校健診プログラムと同期する」ボタンをクリックして、この入力表を整えてください。

「学校健診プログラムと同期」とは、各学年・組ごとに、組内番号順の氏名と身長・体重のデータ(既入力)の取込を行うことです。

	画面移動ボタン						処理説明
一学年の生徒数設定	生徒数拡張 最多学年 1500 名 生徒数						枠外参照
身長・体重の入力	小学1年 中学1年	小学2年 中学2年	小学3年 中学3年	小学4年 高校1年 高専1年	小学5年 高校2年 高専2年	小学6年 高校3年 高専3年	枠外参照

注) ボタン色は、緑・赤・オレンジの3種類があります。 ■ ■ ■
 緑は画面移動ボタン、赤は自動マクロ実行ボタン、オレンジ色はデータ転送ボタンです。
 赤・オレンジ色のボタンをクリックすると、確認画面が出ますので、変更しない場合は閉じて下さい。

ボタンをクリックすると、次のような画面が出ます。

同期プログラム

健診プログラムと健診データ入力表のデータ同期

転送のための同期
(入力したデータをプログラムに転送するためです。)

入力のための同期
(入力表を準備するためです。)

健診プログラム名を指定して下さい。

参照

データの同期 指定せず閉じる

同期プログラム

健診プログラムと健診データ入力表のデータ同期

転送のための同期
(入力したデータをプログラムに転送するためです。)

入力のための同期
(入力表を準備するためです。)

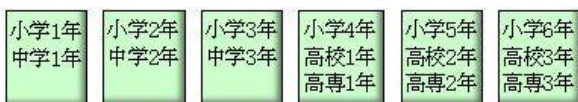
健診プログラム名を指定して下さい。

参照

データの同期 指定せず閉じる

3) 「健診プログラムと健診データ入力表のデータ同期」で、必ず! 「入力のための同期」を選びます。
データを同期すると、入力表に組編成が反映されています。

4) 「身長・体重の入力」の「各学年」ボタンをクリックし、学年別シートに移動します。



5) 各学年シートに、身長・体重を入力します。

入力には、直接白枠のデータ欄に入力するか、または「データ入力」ボタンをクリックします。
「データ入力」ボタンの作業は以下のようになります。

健診ソフトの導入手順

The image shows three sequential screenshots of the '健診データ入力画面' (Health Check Data Entry Screen) software interface. The first screenshot shows the initial state with empty fields for '健診月' (Health Check Month), '組' (Group), '組内番号' (Group Number), '氏名' (Name), '性別' (Gender), '身長' (Height), and '体重' (Weight). The second screenshot shows '健診月' set to '4月(身長,体重)' and '組' set to '1'. The third screenshot shows '氏名' as '秋元 雅', '性別' as '女', '身長' as '120.3 cm', and '体重' as '21.3 kg'.

入力画面として左に初画面が出ます。中央が健診月・組番号を選択した後の画面です。

右が組内番号を入力し、「選択」ボタンをクリックした後です。

自動的に氏名・性別が出ますので、身長・体重を入力します。

6) 「学校健診プログラム」へ入力データを転送」ボタンをクリックして、転送します。

このボタンは1学年ずつ転送しますが、6学年すべてを一括転送する場合には、「学校健診プログラム」へ入力データを一括転送」をクリックします。

D: 初画面の「新規導入時のみ、昨年4月身長」ボタン

学校健診プログラムに、昨年4月身長を転送し、成長速度SD（身長SD差の推測）の計算に用います。

（継続の場合は不要です。学校健診プログラムの「前年度データ取込」で自動処理されます。）

- 1) 初画面の「新規導入時のみ、昨年4月身長」ボタンをクリックします。
- 2) 学年ごとに、学歴番号・氏名・昨年4月身長を、表に入力します。
- 3) 入力後、「学校健診プログラムへ昨年4月身長データを転送」ボタンをクリックします。

E: 2017年以前のデータを活用したい

成長曲線自動作成プログラムのデータ表に直接入力する以外、2017年以前のデータは（2017年4月の身長を除いて）現時点では活用できません。これから取り込む方法を検討しますので、しばらくお待ちください。

平成30年4月1日

（文責：高橋泰生）